

2018 年 5 月 10 日

○ 5月定例所長会見における発電所長挨拶内容

○ 所長の設楽でございます。

○ 福島第一原子力発電所の事故から、7年2ヶ月が経過しようとしております。今もなお、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。

○ 本日、私からは3点お話しをさせていただきます。

○ まず始めに、柏崎市、刈羽村におけるコミュニケーションブースなどの対話活動の状況についてです。

柏崎市内、刈羽村内において、3月末から5月末までの期間で実施しております「東京電力コミュニケーションブース」については、これまでに計12カ所で開催し、約800名の方にご来場いただきました。ご来場いただいた方からは「普段、原子力発電の仕組みや対策等を見聞きする機会が無いので、今回のように気軽に足を運ぶことができるのは良い」「VRを初めて体験したが、発電所の設備が目の前にあるようで臨場感があった」等のご意見をいただきました。

ゴールデンウィークの5月3日から5月6日までの期間には、発電所サービスホールにおいて、ふれあいミニ動物園や発電所見学ツアー等を催したイベントを開催し、約3,000名と大変多くの皆さまにお越しいただきました。期間中の発電所見学ツアーについては、400名以上の方々にご参加いただき、発電所構内の安全対策の状況を直接ご覧いただきました。

イベントに参加された方からは、「見学ツアーに参加して、説明を聞いてとても勉強になった」「子供にもわかりやすく展示館を案内していただいてとてもよかった」等のご意見をいただいております。

今後、一人でも多くの地域の皆さまと直接対話する機会を得て、皆さまのご意見やお気持ち等をお聴きし、ご不安や疑問におこたえするとともに、発電所の状況等をわかりやすくご紹介し、ご理解いただければと考えております。

○ 次に、当発電所における「原子力モニター」の募集についてです。

地域の皆さまのご意見等をお聴きし、私どもの発電所の状況をご紹介する活動の一環として、当発電所では従前より、立地地域にお住まいの方を中心に、「原子力モニター」にご参加いただき、意見交換会や発電所見学などの活動を行っております。

今年度につきましても、ニュースアトムやFMピッカラ等を通じて公募することとしております。

より多くの皆さまにご参加いただき、日本のエネルギー事情や原子力発電の仕組み、必要性、私どもの安全対策などについて、ご理解を深める機会としていただければと考えております。また、この活動を通じて、原子力モニターの皆さまから様々なご意見を頂戴し、発電所の運営に活かしてまいります。

○ 最後に、新入社員の着任についてです。

今年度、当社と3つの基幹事業会社は、新卒採用として217名の新入社員を迎え入れました。当発電所に配属された新入社員は、地元新潟県出身の10名を含む36名であり、東京都内での研修を経て、4月18日に当発電所へ着任しております。

発電所では、机上で原子力の仕組みを学んだり、実際に現場へ行き設備を学んだり、運転員としての研修を行うなど、半年程度かけて研修を行った後、各部署へ配属する予定です。

新たに発電所の一員となる新入社員の新鮮な視点、発想も引き出しながら、迎え入れる私どもも、新入社員に対し、事故の反省や現場の技術等をしっかりと継承してまいります。そして、新入社員を含め発電所の所員、協力企業が一体となって、発電所の一層の安全

性向上に取り組み、地域の皆さまから信頼いただける発電所を目指してまいります。

○ 本日、私からは以上です。

以 上